

牧師 Seung-Eun Grace Lee

日語部牧師 文 マーク

219 Mary Drive, Santa Maria, California 93458 Tel. (805) 925-3116

**標語聖句**

わたしは主を愛する。主はわが声と、わが願いとを聞かれたからである。  
主はわたしに耳を傾けられたので、わたしは生きるかぎり主を呼びまつるであらう。

詩篇 116 篇 1・2 節

**牧師欄**

40日のレント(四旬節)を終えると復活祭になります。イエスの復活を信じられない、復活の証拠を見せてくれと言われますが、聖書の四福音書にはそれぞれの福音書記者によって説明が書かれています。(マルコ 16:1-8、マタイ 28:1-8、ルカ 24:1-12、ヨハネ 20:1-10)

マルコによる福音書では、マグダラのマリヤ、ヤコブの母マリヤ、サロメはイエスに油を塗るために香料を買い、早朝墓へ行ったが、墓の中で白衣の少年に「あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。」と言われ、婦人達は恐れおののき、正気を失いだれにもなにもいわなかった、と記しています。マタイはこの婦人達は弟子達に知らせに行く途中でイエスに会い、イエスの足を抱きその前にひれ伏した、と書いています。ところが、ルカはイエスがエマオの道で二人の弟子に現れ、ご自身で復活のお話をされたと言っています。ヨハネはイエスが弟子達に、マグダラのマリヤに現れ、更に七人の弟子達に復活の主であることを示されたと言っています。

4福音書はそれぞれ少しずつ、違った表現でイエスの復活を書き記していますが、いったいどの記録が正しいのでしょうか。私達は歴史の事実を異なった記録で読むことが出来ますが、復活の事実を通して弟子達の心の中に起こった大きな変化を読み取るのが重要なのです。それは復活されたイエスの新しい生命を私達の中にいただき、新しい信仰生活に入り、新しい第一歩と踏み出すことなのです。

わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。また生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれを信じるか。 ヨハネによる福音書 11:25-26

**教会行事・集会案内**

毎日曜日	午前9時30分	聖書研究	午前10時30分	主日礼拝
毎水曜日	午後7時	聖書研究と交わりの会		
毎月第2水曜日	午後7時	定例役員会		
毎金曜日	午後6時30分	3教会合同祈祷会		

4月 4日(土)	午前11時	日語部礼拝
12日(日)	午前8時~10時	イースター朝食会
	10時30分	イースター礼拝

**4月誕生者** 4日 Kleinfeldt 光子 20日 文 英子

**マザー・テレサ 愛のことば から**

無理なことをどうこう思い悩むのは むだなことです。  
出来ないことは 神さまがおのぞみでないのだと 思いなさい。;